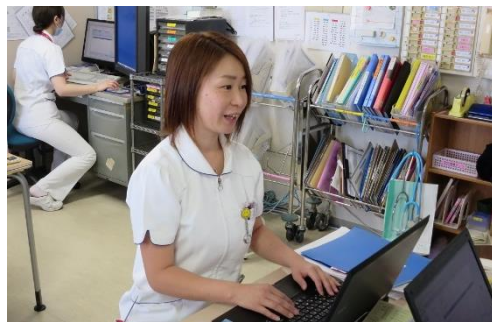


1979年生まれ、音更町出身。高校卒業後、現病院に勤めながら准看護師の資格を取得。准看護師として10年勤務後、通信制課程で正看護師の資格を取得。2016年4月より現職。管理職である主任として約30名の看護師を率いる。1男1女の母。



救命救急や災害支援についても伝えていきたい

きっかけ

小さい頃に目の手術を2回受けました。その時に看護師さんにとっても優しくしてもらった記憶があったのと、高校時代に社会人のテニス仲間に勧められたこともあり、看護師の道を歩むことにしました。本当はテニスのインストラクターになりたかったのですが反対も多くて（笑）。家から近かったこともあって、協立病院で働き始めましたが、職場の雰囲気もとても良く、研修に行きたいなどの要望も聞き入れてくれることもあり、居心地が良くて、ずっと勤めています。育休中も子供を連れて良く来ていました。好きなのでしょね、ここが。

満足度

患者さんが元気になって退院する時、患者さんやご家族から「ありがとう」と言ってくれた時でしょうか。患者さんのお友達が、あそこの病院は良いよという評判を聞いて来ていただけたという時もとても嬉しいです。最近退院された患者さんなのですが、一時は命が危ない状況だったのですが、自分たちも積極的に意見を出し、チームで頑張った結果、奇跡的に病状が回復して元気になられたのは、本当に頑張った良かったと思った瞬間でした。一人でも多くの患者さんを元気にしていくというのがやはり自分の満足度向上につながっています。

苦労

仕事は苦ではないので辞めようと思ったことはないのですが、子供が小学校1年生と保育園に通っている時に、札幌の通信制学校で正看護師の資格を取るために、家を離れなくてはならず、その時は少し大変でした。でも、夫やそれぞれの両親がサポートしてくれて乗り越えることができました。経験年数も積み、主任になってからは若い看護師を育てる立場になったのですが、自分が若い頃とは、教育方針も気質も違ってきているので、その違いを理解した上で教えていくというのは大変だなと思います。でも、何かあった時に抱え込まないように相談しやすい雰囲気を作ることには気をつけています。

これから

救命救急について経験したくて、「ICLS（医療従事者のための突然の心停止に対する蘇生トレーニングコース）北海道」や「災害支援ナース」という資格を取得しました。救命救急の経験できる病院に移ろうかとも思ったのですが、まずは自分の病院のスタッフに救命救急の知識を広める方が良いかなと思って、講座を開いたりしています。病院内で広めたら、次は法人内の他の施設、ゆくゆくは地域の住民の方達に広めていけたらいいなと思っています。看護師として偉くなっていくという道もありますが、まだしばらくはいいかな。現場にいるのが好きなので。

独りじゃないんだって考えるようにしています。職場や家、ママ友、周りには仲間がいます。悩むことがあったら、いろいろな人に相談したらいろいろな答えが出てきますし、私もそうだったよって言われるだけでホッとします。何かあったら気軽に相談して欲しいですね。